

学校 番号	62	学校名	松 川 高等学校
----------	----	-----	----------

令和6年度学校評議員活用状況報告書

第 3 回学校評議員会 【令和7年2月17日に実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 各担当からの報告
 - ① 学校評価委員会より
 - ・「匿名性を担保した授業評価」アンケート、職員アンケート結果報告
 - ・「学校評価」アンケート（生徒・保護者・職員）結果報告
 - ② 進路指導係より
 - ・3年生の進路状況報告
 - ③ 生徒指導・生徒支援係より
 - ・本年度の生徒指導状況の報告
 - ④ 各学年主任より
 - ・各学年生徒の現状などについて
- (2) P T A役員との懇談
- (3) 質疑・意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- (1) 学校評価に関して生徒、保護者、職員へのアンケートは SNS（オクレンジャー）を使い行った。匿名性の担保に加え、アンケートの回収もスムーズに行うことができ、また集計についても時間的な簡略化ができた。
- (2) 会の実施日程については、多くの評議員の方の都合の良い日に設定するようにアンケートをとった。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- (1) 学校評価アンケートに基づき、生徒が安全・安心に楽しく学校生活を送れている様子をご理解いただいた。
- (2) 3年生の進路状況について、今回は例年より進学の高くなったが、地元への就職を含め、今後も卒業生が地域の一員として活躍してほしい旨のお言葉を頂戴した。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- (1) 本年度の P T A活動はこの4年でコンパクトなものになった様子が報告され、次年度への方向も示された。今後も教員、生徒、保護者、地域が連携を強化し、よりよい学校を目指していきたい。
- (2) 3年生の進路状況について、本校の教育活動を活かし、地域産業の担い手として頑張してほしいというエールをいただいた。地域の中の学校であることを意識しながら今後の進路指導においても心がけていきたい。
- (3) 転学する生徒及び不登校生徒への支援について話題があった。転学することで、新たな環境で自分のペースで学習を進めて、心機一転新たなスタートをしている様子を伝えた。一方で不登校生徒への支援については、様々な要因を踏まえて支援の方向を検討していく。また、状況に応じて生徒支援係や SSW、SC と連携し問題解決を探っている。今後も専門機関と連携しながら、家庭環境のこと、よりよい人間関係が構築できるようにしていくことなど生徒支援を図っていきたい。